

シエムリアップ Moi Moi ライフ

ISSUE
120

「Moi Moi」とはクメール語で「ひとつずつ、ゆっくりと」の意味。恵み豊かなカンボジアでのスローライフをお届けします。



小出 陽子 (Yoko KOIDE)

1992年早稲田大学大学院卒。一級建築士。2000年、UNESCO/JSA 遺跡修復オフィス建設のため、カンボジアに赴任。2005年～2020年、シエムリアップにてレストラン Cafe Moi Moi を経営。2005年 JST (NGO: アンコール人材養成支援機構) を設立し、農村地域の支援活動を始める。2013年“アンコールの都の西北”に公立のバイヨン中学校を創設。2019年には高校も併設され、現在、全校生徒1,000人の学校運営を行っている。

● JST ホームページ
<http://www.jst-cambodia.net>

政治はまつりごと、選挙は祭りなり

今年6月。カンボジアでは5年に1度の地方選挙が行われました。カンボジアの選挙の投票率は8割前後と高く、それを支えているのは、選挙の半年も前から地方農村を回って準備を進めている各政党の支持者や役人たちです。夫も選挙担当地区が決められ、「政党を全面的に支持しているわけではない」とぼやきながらも、週に何度も担当地区に出かけ、住民の悩みを聞いたり、カンボジアの将来について語り合ったりして、政党支持を呼び掛けていました。カンボジア農村部の識字率は低く、投票用紙に書かれているクメール語が読めない住民も多いため、政党のマークを覚えてもらい、☑を記入する練習をさせることが重要な役目とのこと。それだけでなく、地区住民の生活向上のために、皆で身銭を切って村の道路整備を行うなど、選挙に対する献身ぶりには頭が下がる思いでした。

そこまでのめり込むカンボジアの選挙とはどんなものなのか？と興味深く思っ



カンボジアの選挙活動

ていた矢先、政党別の行進の一つに参加できることになりました。

そこで見たものは、トラックや耕作機に乗り、音楽に合わせて踊りながら高揚する人々、「〇〇党、チャイヨー！チャイヨー！（万歳、万歳！）」と拳をふり上げながら練り歩く村人の姿でした。これはまさにおみこしや山車の行列で盛り上がるお祭りの風景そのもの。

このようにカンボジアの選挙活動は、何か月も前から地域の人々ほぼ全員が支持政党ごとに何度も集まって準備をし、そして選挙運動開始日と最終日は、皆の連帯感を確認するかのよう、「政党」という同じおみこしを担いで村を練り歩く、一大イベントなのです。そうすることによって、社会共同体の一員であることを実感し、おきて、秩序、協力といった政（まつりごと）の本質を体感できるのでしょう。「政治はまつりごと、選挙は祭りなり」。そんな政治の原点、祭政一致だった頃の古代的風景を垣間見ることができたカンボジアの選挙活動参加でした。